

目 次

I. 和歌山大学南紀熊野サテライトについて	1
1. 南紀熊野サテライトの紹介	1
2. 2つの受講制度	2
II. 大学院科目等履修生の募集	4
1. 出願および履修願の手続き	4
2. 出願書類等	
㊦南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書	6
㊧履歴書	7
㊨令和6年度後期検定料の納入について	8
III. 学部開放授業受講者の募集	9
1. 聴講申請の手続き	9
2. 申請書類等	
㊩学部開放授業受講者聴講申請書(新規聴講生用)	11
㊪学部開放授業聴講申請書(登録有効期間中の聴講生用)	12
㊫令和6年度後期学部開放授業の聴講料の納入について	13
㊬学部開放授業申請書類受付通知はがき	
IV. 令和6年度後期 南紀熊野サテライト開講授業	14
1. 大学院授業	14
2. 学部開放授業	16

I. 和歌山大学南紀熊野サテライトについて

1. 南紀熊野サテライトの紹介

- 和歌山大学南紀熊野サテライトは、大学の研究・教育機能を活用して地域づくりに貢献する「大学の地域ステーション」をめざしています。
- 地域社会と共に育ちあう、創造的な教育、研究、社会連携活動を行います。

和歌山大学南紀熊野サテライトは、地域の現実に対峙し、4つの視点から地域社会と共に育つ、創造的な教育・研究、社会連携活動をめざします。

1. 地域の知の拠点として
2. 大学の知的財産は地域資源
3. 地域・産・学・官みなが共に成長する仕組みづくり
4. 地域知の可能性を引き出す

和歌山大学は和歌山県との連携にもとづき、平成17年4月、県立情報交流センターBig・uに南紀熊野サテライト(設置当時は紀南サテライト)を開設しました。

南紀熊野サテライトは全国の地域型サテライトのさきがけであり、下記の事業を行っています。

1. 地域住民の多様な教育ニーズに対応した特色ある高等教育の実施
2. 地域研究の推進および地域の課題をふまえた生涯学習の機会提供
3. 地域自治体、企業等と連携した地域活性化に資する事業の実施
4. 高校を含めた地域に対する大学情報の発信

地域課題に沿った科目を開講



大学院科目の様子



機材を使った実習の様子



学部開放科目の様子



「東牟婁地域の自然」現地実習の様子

2. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修制度」と「学部開放授業受講制度」(※高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」)があり、それらを南紀熊野サテライトで利用できます。令和6年度後期に南紀熊野サテライトで受講できる制度の概要は以下のとおりです。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	18歳以上 ※和歌山県内の高校に在学の高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」で聴講が可能です。
選 考	願書および履歴書等による選考	なし(年齢確認のみ)
成績評価	あり	なし
単位認定	あり(成績評価「合格」の者)	なし
費 用	検定料 5,000円 入学料 10,000円 授業料 14,400円(1単位につき)	聴講料 11,000円(1科目) ※令和4年度より登録料の制度が廃止されました。ただし経過措置として、登録期間の有効期限が2024年10月1日以降の開放授業生については、有効期限までは聴講料は、10,000円(1科目)となります。
経 済 学 研 究 科 修 士 課 程 へ の 進 学	【詳しくは経済学研究科修士課程学生募集要項をご覧ください。】 科目等履修生として修得した単位は、入学後に修得した単位として18単位まで認められる場合があります。 ※ただし、修了要件となる単位として認められない場合があります。	

大学院科目等履修制度とは

【概要】

- 大学院の授業を原則、土曜日の日中を中心に、Big・u(田辺市)で開講します。
フィールドワーク(現地調査)を行う授業もあります。保険料や交通費等は各自の負担となります。
- 入学資格は、大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、書類審査等による選考があります。
- 科目等履修生として入学し、受講後に合格判定を受ければ、所定の単位を取得できます。
- 本学(栄谷キャンパス)および岸和田サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講することができます。

○1学期毎(通年科目は1年毎)に履修申請が必要です。

【和歌山大学大学院経済学研究科修士課程への進学】

令和3年度から経済学研究科改組に伴い、プログラム制となっています。経済学研究科に進学希望の方は、出願前に修了要件等について5ページの問い合わせ先までご照会ください。

○既修得単位認定制度

南紀熊野サテライトの科目等履修生が本学大学院経済学研究科に入学した場合、本サテライトでの取得単位を含め、入学前に本学および岸和田サテライトの大学院科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として認められることがあります。

※ただし、修了要件となる単位として認められない場合があります。

○社会人短期履修制度

本研究科修士課程社会人特別選抜の出願資格を満たし、本研究科科目等履修生として6単位以上を修得していれば、通常は修了に2年かかる修士課程を、最短1年で修了することもできます。

※改組に伴い令和3年度以降は、「南紀熊野サテライトコース」を利用することはできなくなりました。

学部開放授業受講制度とは

【概要】

○学部開放授業(連携展開科目)を土曜日の日中を中心にBig・u(田辺市)他で開講します。18歳以上(高校生は2ページをご覧ください。)であれば受講者として登録できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講していただけます。

【受講可能期間】

○初回聴講からの4年間を「登録期間」として以降の登録料を免除してきましたが、令和4年度より登録料を免除する制度を廃止しました。

ただし経過措置として、登録期間の有効期限が2024年10月1日以降の開放授業生については、有効期限までは今までどおりとします。この場合、1科目あたりの聴講料は10,000円となります。

II. 大学院科目等履修生の募集

1. 出願および履修願の手続き

募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、14ページ以降をご参照ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

※やむを得ず遠隔授業(オンライン授業)で開講する場合があります。

(オンライン授業に切り替わった際に必要なPC等の受信端末やネット環境等を各自で準備してください。)

※各自が持参したノートパソコンを用いる授業科目、履修条件がある授業科目があるので出願前に問い合わせ先まで照会してください。

※授業内容を録画することもあります。

募集人数

各科目とも、若干名

出願期間・出願方法

令和6年8月20日(火)～8月26日(月)(必着)

出願書類等を学務課学部等支援室経済学部係宛に郵送してください。その際、封筒の表に「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付(期限必着)してください。

【出願される方】

○入学資格

①大学を卒業した者

②学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※入学資格について不明な点がある方は、検定料振込前に学務課学部等支援室経済学部係にお問い合わせください。振込後の返金はいたしかねます。

※入学資格②による志願者は、事前に審査を行いますので、出願開始1ヵ月前までに経済学部係に申し出をしてください。

○検定料

5,000円

○出願書類

「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書」(用紙㉗)

振込依頼書(用紙㉘)を利用して最寄りの銀行等にて検定料を振込み、振込依頼書のC票「振込金受付証明書」を願書の所定の位置に貼付してください。

「履歴書」(用紙㉙)

大学等の卒業(修了)証明書(卒業・修了見込の方は見込証明書)

証明書を卒業大学等から取り寄せ、履歴書に添付してください。

改姓・改名の場合は、戸籍抄本等それが分かる書類を添付してください。

返信用封筒(結果通知用)

角型2号封筒(100g以内)に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留で返送できるよう必要な額の切手を貼ってください。

※提出する書類は、すべて原本とし、コピーは認めません。

卒業(修了)証明書の原本は、過去に提出されている場合は、その証明書のコピーあるいは過去に発行された科目等履修生履修可能期限証(カード)または、利用等履修生証(カード)のコピーでもかまいません。

選考および結果通知

提出された願書および履歴書等で審査を行います。選考結果は、9月11日(木)までに返信用封筒にて郵送します。届いていない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。合格者には入学手続書類を同封します。

入学手続期間・手続方法

令和6年9月12日(木)～9月13日(金)(必着)

手続書類を学務課学部等支援室経済学部係まで郵送(期限必着)してください。詳細は入学手続書類に記載します。

入学料および授業料

入学料 10,000円

授業料 14,400円(1単位につき)

詳細は、入学手続書類に記載します。

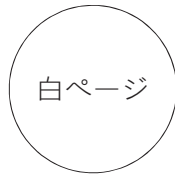
※所定の期日までに授業料が納付されなかった場合は除籍となります。(入学手続後のキャンセルについては入学手続書類を確認してください。)

その他

- ・出願後、授業科目の開講日時・場所・担当教員等に変更等が生じる場合がありますので留意してください。なお、これらの変更により受講が困難になった場合は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・科目等履修生は通学定期の購入及び学割の利用はできません。
- ・障害を有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問い合わせ先までご相談ください。

出願先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部等支援室経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp



令和 年 月 日

南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書

和歌山大学長 殿

氏名(署名) _____

下記の科目を科目等履修生として履修したいので、入学を許可願います。

記

履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	グローバル・アグリビジネス	1
<input type="checkbox"/>	経済地理学	1

(: 該当するものに「レ」を記入してください。)

履修期間の開始 令和6年10月1日

履修科目数	科目
-------	----

履修総単位数	単位
--------	----

5,000円

科目等履修生
振込金受付証明書
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊟)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

履 歴 書

ふりがな 氏 名		男 ・ 女	写 真 欄 (3×4 cm)
生年月日	昭和 平成 (西暦	年 月 日 生	最近3ヶ月以内に 撮影の上半身正面 脱帽とする
現住所	(〒 -) TEL.() -		
日中の連絡先 (勤務先・携帯電話等)	(〒 -) TEL.() - E-mail.		
最終学歴 卒業証明書添付要	(年制)	入 学 ----- 年 月	
		卒 業 ----- 年 月	
勤 務 先 (在職者のみ)			年 月～

令和6年度後期検定料の納入について（南紀熊野サテライト大学院科目等履修生用）

① 出願資格について確認を必要とする方は、学務課学部等支援室経済学部係(073-457-7805)へ確認後振込むようにしてください。

(出願資格の欠格が多々見受けられますので、特に注意してください。)

② この振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関窓口から振込んでください。

※ ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ A T M (現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。

※ 振込手数料は、依頼人負担となります。

③ 「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。

④ 「振込金受付証明書(C票)」は、願書の所定欄に貼付してください。

⑤ 「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

① 太線の枠内は必ず記入してください。

② 志願者氏名は、必ず志願者本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。

切り取って、金融機関にお出しください。

C 票 振込金受付証明書

令和6年度後期入学検定料
(願書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000	円		
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

取納印

(ご依頼人→大学)

B 票 振込金領収書(本人保存)

令和6年度後期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000	円		
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店			
普通預金	0766935			
口座名	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				
振込手数料	円			

取納印

(取扱店→ご依頼人)

切り離しのうえ願書の所定欄に貼付して提出してください。

A 票 振込依頼書

令和6年度後期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店 (普)			
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学			
整理番号	5	6	1	
フリガナ				
志願者氏名				
住所				
振込指定	0766935			
金額	5,000			
電信扱	円			
手数料	円			
手数料ご依頼人負担				

取納印

* 金融機関へのお願い

1. 整理番号、志願者氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

(取扱店保存)

Ⅲ．学部開放授業受講者の募集

1．聴講申請の手続き

聴講資格

18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも可能です。(受講申請に際しての審査や単位はありません。)

※高校生は2ページをご覧ください。

募集科目および募集人数・会場

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

※本学の授業実施状況に準じて遠隔授業(オンライン)に切り替えることもあります。切り替わった際に必要な受信端末やネット環境は、各自で準備してください。

※授業によっては、授業内容を録画することがありますので、ご了承ください。

「地域観光戦略論B」

(30名程度)……田辺市会場

「南紀熊野の宇宙」

(20名程度)……田辺市会場

「SDGs・紀南」

(20名程度)……紀南地域

※お問い合わせは、会場ではなく次頁の和歌山大学南紀熊野サテライト迄お願いします。

申請期間・方法

令和6年8月20日(火)～9月12日(木)(必着)

以下「必要となる書類等」を参考に、申請書類を和歌山大学南紀熊野サテライト宛に郵送してください。

その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

※持参による申請は、不在の場合がありますので事前に事務室にご連絡ください。

※必ず上記申請期間内に手続き(振込み等)してください。

(申請期間より前(8月20日より前)の申請(振込み等)は、正しく登録されないことがあります。)

(注)学部開放授業の開講日は、重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合は、ご注意ください。

必要となる書類等

1. はじめて聴講申請される方 2. 登録の有効期限が2024年9月30日以前の方	2024年10月1日現在、登録有効期間中の方										
<input type="checkbox"/> 学部開放授業受講者聴講申請書 (用紙㊦) <input type="checkbox"/> <table border="0"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">・聴講料</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td>11,000円 (1科目の場合)</td> </tr> <tr> <td>22,000円 (2科目の場合)</td> </tr> <tr> <td>33,000円 (3科目の場合)</td> </tr> </table> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊧)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊦の所定の位置に貼付してください。</p>	・聴講料	{	11,000円 (1科目の場合)	22,000円 (2科目の場合)	33,000円 (3科目の場合)	<input type="checkbox"/> 学部開放授業聴講申請書<開放授業登録済者用> (用紙㊦) <input type="checkbox"/> <table border="0"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">・聴講料</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td>10,000円 (1科目の場合)</td> </tr> <tr> <td>20,000円 (2科目の場合)</td> </tr> <tr> <td>30,000円 (3科目の場合)</td> </tr> </table> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊧)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊦の所定の位置に貼付してください。</p>	・聴講料	{	10,000円 (1科目の場合)	20,000円 (2科目の場合)	30,000円 (3科目の場合)
・聴講料			{	11,000円 (1科目の場合)							
				22,000円 (2科目の場合)							
	33,000円 (3科目の場合)										
・聴講料	{	10,000円 (1科目の場合)									
		20,000円 (2科目の場合)									
		30,000円 (3科目の場合)									
<input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊨ 郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 ※持参による申請の場合は、はがきは不要です。	<input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊨ 郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 ※持参による申請の場合は、はがきは不要です。										

※受講登録後の払戻しはできません。

高校生を対象とした大学授業の公開制度(P.2)による高校生の受講料は別途設定されております。

和歌山大学ホームページよりご確認ください。

※改定があった場合は、改定後の金額とします。

※フィールドワークに伴う保険料、交通費等諸費用は各自のご負担となります。

申請書類受付通知

申請書類受理後、お送りいただきました受付通知はがきを送付します。募集期間終了日(9月12日)から3～4日過ぎても受理通知はがきが届かない場合は、下記窓口へお問い合わせください。

受講通知

授業開始日の10日前頃までに、授業案内(教室等お知らせ)を送付します。

登録および申請先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 南紀熊野サテライト	〒646-0011 田辺市新庄町3353-9-102 和歌山県立情報交流センターBig・u内	0739-23-3977 (fax 0739-23-3978) nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp

※開室時間 10:00～17:00 (日曜・月曜・祝日休み)

なんらかの支援または情報保障が必要な方は、8月2日(金)までにご連絡ください。

学部開放授業受講者聴講申請書

和歌山大学長 殿

写真欄
(3 × 4 cm)

最近3ヶ月以内に
撮影の上半身正面
脱帽とする

申請者

フリガナ
氏名(署名) _____
 生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日(男・女)
 現住所(〒 _____)

 電話番号(_____) _____ 職業 _____
 携帯電話番号 _____
 E-mail _____

保護者(※申請者が未成年の場合に必要)

氏名(署名) _____
 申請者との続柄(_____)

※楷書で丁寧に自書すること。
 ※氏名の漢字は、登録者証に使用できる漢字以外については代替の文字(カタカナを含む)となります。

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	地域観光戦略論B
<input type="checkbox"/>	南紀熊野の宇宙
<input type="checkbox"/>	SDGs・紀南

1科目 11,000円
 2科目 22,000円
 3科目 33,000円

新規聴講者
 振込金受付証明書
 貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

※ATM又はネットバンキングで振込まれた方は、下の□に✓を記入して下さい。

- ATMにて振込
- ネットバンキングにて振込

以下、大学記入欄

学生番号: _____

発行年月日: 20 _____ 年 _____ 月 _____ 日

有効期限: 20 _____ 年 _____ 月 _____ 日

学部開放授業聴講申請書 〈開放授業登録済者用〉

和歌山大学長 殿

申請者

学生番号 _____

氏名(署名) _____

生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日 (男・女)

現住所(〒 _____)

電話番号(_____) _____ 職業 _____

携帯電話番号 _____ - _____ - _____

E-mail _____

保護者 (※申請者が未成年の場合に必要)

氏名(署名) _____

申請者との続柄 (_____)

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	地域観光戦略論B
<input type="checkbox"/>	南紀熊野の宇宙
<input type="checkbox"/>	SDGs・紀南

有効期限(西暦) 20 _____ 年 _____ 月 _____ 日

(学部開放授業登録者証を参照ください。)

「学部開放授業登録者証」のコピー貼付欄

1 科目 10,000円
 2 科目 20,000円
 3 科目 30,000円

登録期間中の聴講者
 振込金受付証明書
 貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

※ATM又はネットバンキングで振込まれた方は、下の□に✓を記入して下さい。

ATMにて振込

ネットバンキングにて振込

令和6年度後期学部開放授業の聴講料の納入について（南紀熊野サテライト用）

費用は、新規受講申請者(用紙⑤)での申請)は聴講料11,000円(1科目につき)となります。
更新受講申請者(用紙⑥)での申請)は聴講料10,000円(1科目につき)となります。

①この振込依頼書に必要な事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関の窓口から振込んでください。

※ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ATM(現金自動預払機)・ネットバンキングでも振込み可能ですが、その際は下記の振込依頼書に記載の銀行口座に、振込依頼人欄には整理番号「69」と氏名を記入の上(例 69 ワダイ タロウ)、金額に過不足のないようお願いください。

※振込手数料は、依頼人負担となります。

②「振込金受付証明書(C票)」は、申請書の所定欄に貼付してください。

③「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

- ① 太線の枠内は必ず記入してください。
- ② A票・B票・C票の金額欄は、聴講料の合計を記入してください。
- ③ 受講者氏名は、必ず受講生本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。

切り取って、金融機関にお出しください。

C票 振込金受付証明書

令和6年度後期聴講料
(申請書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
受講者氏名				

収納印のない場合は、無効となります。

収 納 印

(ご依頼人→大学)

B票 振込金領収書(本人保存)

令和6年度後期聴講料

依頼日	令和	年	月	日	
金額	円				
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店				
受取人	普通預金	0766935			
フリガナ	和歌山大学				
受講者氏名					
				振込手数料	円

収 納 印

(取扱店→ご依頼人)

A票 振込依頼書

令和6年度後期聴講料

依頼日	令和	年	月	日
振込先銀行	紀陽銀行	紀の川支店	(普)	0766935
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学			
整理番号	69			
フリガナ				
受講者氏名				
住所				

収 納 印

(取扱店保存)

*金融機関へお願い

- 1. 整理番号、受講生氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
- 2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

金融機関で切り離してください。

手数料ご依頼人負担

電信扱	手数料	円
金額	円	
内	現金	
訳		

IV. 令和6年度後期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業

授業科目名 (英文表記)	グローバル・アグリビジネス (Global Agricultural)		
単位数	1	授業形態	講義
担当教員	岸上 光克		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 10月26日(土) 13:00~17:00	第3回 12月21日(土) 13:00~17:00	
	第2回 12月7日(土) 13:00~17:00		
<p>【授業のねらい・概要】</p> <p>本講座の目的は、経済のグローバル化の中でのアグリビジネスのあり方を習得することである。経済グローバル化のプロセスでは、アグリビジネスの基盤である農業生産とその産出である農産物に関しては、国際摩擦のシンボルとなる傾向が強く、合意形成も難航することがしばしばである。農業という産業特性とともに、国家間の経済的・政治的・文化的差異が、そこに集約されやすいからである。本講義では、アグリビジネスに直接的な発展可能性を規定する外部条件が何か、アグリビジネスに直接的な内発的発展可能性を与える内部条件が何かを明らかにすることによってグローバル経済下の日本におけるアグリビジネスについて考察することにある。</p> <p>【授業計画】</p> <p>第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の食料需給：世界の食料需給と農業について把握し、ディスカッションを実施 日本における農産物貿易の実態：日本における農産物貿易の実態を把握するとともに、ディスカッションを実施 (予習) 世界の食料需給や貿易について、事前に調べておくこと (復習) 授業で習った内容と関連資料や論文について確認すること <p>第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> 多国籍アグリビジネスの展開と日本農業：多国籍アグリビジネスの展開と日本農業への影響について把握するとともに、ディスカッションを実施 (予習) 多国籍アグリビジネスについて、事前に調べておくこと (復習) 授業で習った内容と関連資料や論文について確認すること <p>第3回</p> <ul style="list-style-type: none"> フードビジネスとワーキングプアの実態：フードビジネス等について把握するとともに、ディスカッションを実施 コメビジネスや野菜ビジネスの実態：コメビジネスや野菜ビジネスについて把握し、ディスカッションを実施 (予習) フードビジネスについて、事前に調べておくこと (復習) 授業で習った内容と関連資料や論文について確認すること <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①グローバル経済下のアグリビジネスの基本的枠組を理解し、説明できる ②グローバル経済下のアグリビジネスを取り巻く社会経済的環境の変化を理解し、説明できる ③グローバル経済下のアグリビジネスの基盤となる農業の産業としての特性を理解し、説明できる ④グローバル経済下のアグリビジネスの社会経済的特性に基づく持続的発展可能性について理解し、説明できる <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の講義レポートを参考に、総合的に判断する。</p> <p>【教科書】</p> <p>冬木勝仁ほか『アグリビジネスと現代社会』筑波書房、2021年</p> <p>【参考書・参考文献】</p> <p>八木浩平ほか『日本の食料安全保障と国際環境』筑波書房、2024年、ほか必要に応じて、随時紹介する</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】</p> <p>国内外の食料問題や農業問題について、興味関心を持ち、その背景を認識するとともに、今後のあり方を検討(提示)できることが望ましい。</p> <p>【履修をする上で必要な事項】</p> <p>「農業経済学」「農産物流通論」などの基礎的知識を有することが望ましい。</p> <p>【授業時間外学修についての指示】</p> <p>予習学修と復習とともに、授業で提示いたしました内容について行ってまいります。いずれの作業にも、授業内容と関連したことを調べたり、構想するために相当の時間を要します。</p>			

授業科目名 (英文表記)	経済地理学 (Economic Geography)		
単位数	1	授業形態	講義
担当教員	藤田 和史		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 10月12日(土) 13:00~17:00	第3回 12月28日(土) 13:00~17:00	
	第2回 11月16日(土) 13:00~17:00		

【授業のねらい・概要】

この授業では、人間の経済活動の諸領域を扱う経済地理学について、産業別もしくは地域別に概観し、その学術的成果を踏まえつつ現代の経済地域・経済空間について考察していくことを目指します。具体的には、農業地理学、鉱工業地理学(資源論を含む)、商業地理学、都市地理学および農村地理学について、大学院レベルのテキストを利用しながら学ぶことにします。内容によっては、隣接領域である社会地理学や政治地理学の内容についても言及することにします。

【授業計画】

使用するテキストは4部、都合20章で構成されています。分担箇所について各回報告者が報告し、論点を整理した上で議論していきます。報告者以外の方も各自の疑問点を整理し、報告者へ質問しつつ議論を進めます。

なお、今年度の授業については、サテライトでの開講となることから、履修者が確定次第、各自の分担を指定します。履修者は、指定された箇所についてパワーポイントに要点と論点をまとめたものを、授業日までに準備しておくこと。各章の内容については、Webのシラバスを参照してください。

第1回

ガイダンス、序章～5章の輪読・討論。

第2回

6章～11章の輪読・討論。

第3回

12章～19章の輪読・討論。

【到達目標】

1. 経済地理学について、基礎的な知識を説明できる。
2. 経済地理学の下位諸分野について解説できる。

【成績評価の方法】

議論への参加態度(50%)および報告内容(50%)で評価します。

【教科書】

伊藤・小田・加藤編著 2020.『経済地理学への招待』ミネルヴァ書房. ISBN 978-4-623-08691-7

【参考書・参考文献】

適宜紹介します。

【履修上の注意・メッセージ】

この授業は南紀熊野サテライトでの開講です。積極的な参加を期待します。授業は対面で実施しますが、大学院生はオンラインで受講することが可能です。

【履修をする上で必要な事項】

オンラインで受講される場合については、必要となるPCおよび通信環境については、ご自身で準備してください。

【授業時間外学修についての指示】

テキストの精読を求めます。出席者はテキストを事前に精読するだけでなく、各自疑問点を整理した上で出席すること。授業の場で、各自の疑問点を報告してもらいます。報告者については、担当箇所について要約を作成するとともに、関連する参考文献も参照した上で、報告することを求めます。

2. 学部開放授業

授業科目名 (英文表記)	地域観光戦略論 B (Regional tourism strategy B)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	藤田 和史		
開講	南紀熊野サテライト (田辺市)	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 10月5日(土) 13:00~17:00	第4回 12月21日(土) 13:00~17:00	
	第2回 10月26日(土) 13:00~17:00	第5回 1月11日(土) 13:00~17:00	
	第3回 11月9日(土) 13:00~17:00	第6回 1月25日(土) 13:00~17:00	
【授業の概要・ねらい】			
<p>観光は、「国の光を観る」という語源から、土地の風物・名所を観る行動と考えられてきました。しかし、現在の観光という行動は、語源の意義を含みつつも変化しています。自らの目的意識に基づく観光、風物・名所を観るとともにその背後にある「物語」をも楽しむ観光まで、新たな観光として深化・多様化しています。そして、現在の観光の大きな特徴は、個人の観光行動が広く発信され、それが多数に共有され、新たな観光を誘発するという点です。昨年度は様々な分野から観光の新たな傾向について広く学びました。今年度は、それをもとに、各地のよりローカルな素材を活かした、より地域に密着した観光戦略を具体的に考えてみたいと思います。</p>			
【授業計画】			
<p>授業は以下の内容・予定で進めていきます、担当者・ゲストスピーカーの都合で順番が入れ替わることがあります。入れ替わる場合は、予め連絡します。最終回は、具体的な観光戦略とその発信方法についてグループワークを行います。</p>			
<p>第1回 【観光と環境】 観光を取り巻く環境の変化 (担当教員：小川雅則)</p>			
<p>第2回 【観光DX】 地域観光事例にみるDX戦略 (担当教員：満田成紀)</p>			
<p>第3回 【文化遺産と観光】 観光資源としての巡礼の可能性 (担当教員：藤田和史) ゲストスピーカー：武田国貴 (田辺市熊野ツーリズムビューロー 事務局長)</p>			
<p>第4回 【産業観光】 産業遺産を活用した産業観光 (担当教員：藤田和史)</p>			
<p>第5回 【観光とまちづくり】 ポストコロナにおける商業まちづくり・都市観光 (担当教員：藤田和史) ゲストスピーカー：古井幹也 (観光学研究科博士課程)</p>			
<p>第6回 【まとめ】 地域観光戦略を立案する (全教員)</p>			
【到達目標】			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自らが暮らす地域にある観光の元になる素材を発掘できる。 2. 素材を活かした観光について、訴求力を持った計画を立案できる。 3. その情報をターゲットに対して効果的に発信できる。 			
【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】			
<p>各回の担当者が課す課題(30%)、最終回のグループワークの報告内容(20%)および最終レポート課題(50%)で評価します。</p>			
【教科書】			
<p>特に定めません。授業時に適宜資料を配付します。</p>			
【参考書・参考文献】			
<p>適宜紹介します。</p>			
【履修上の注意・メッセージ】			
<p>グループワーク・ワークショップを含む授業です。また、南紀熊野サテライトでの開講です。積極的な参加を期待します。</p>			
【履修する上で必要な事項】			
<p>PC等を使用しますので、持参してください。</p>			
【授業時間外学修についての指示】			
<p>配付された資料の精読、および授業で提示された課題に取り組んでもらいます。</p>			
【授業理解を深める方法】			
<p>本学「アクティブ・ラーニング」実施要項の以下の項目に該当します。</p>			
<p>⑧学生による発表をともなう学習</p>			
<p>⑩グループワークをともなう学習</p>			

授業科目名 (英文表記)	南紀熊野の宇宙 (Universe of Nanki Kumano)		
単位数	1 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	佐藤 祐介、秋山 演亮、富田 晃彦、澤田 幸輝 (非常勤講師)		
開講	南紀熊野サテライト (田辺市)	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 1月4日(土) 10:50~19:40		
	第2回 1月5日(日) 10:50~16:20		

【授業の概要・ねらい】

天文学は中世に大学ができたときから教養科目(自由七科)の中に含まれていた教養にとって中心的な科目です。宇宙空間の姿や、宇宙や天文学に関わる教育や観光、そして宇宙開発について最新のトピックスを交えながら議論します。また、天候がよければ実際に宇宙を観察します。この授業では、視点は私たちから遠く離れて宇宙にあり、地球は1つの天体として見えます。時間スケールも空間スケールも私たちの日頃の感覚とまったく違います。宇宙を考えることで、地球上で起こっている様々な自然現象、社会現象を宇宙からの視点で捉えることができるような力を養います。

【授業計画】

- 第1回 太陽系天体、天文アウトリーチ (担当教員：佐藤、澤田)
アストロツーリズム (担当教員：澤田)
宇宙探査とロケット (担当教員：秋山)
天文とのかかわりと和歌山での宇宙天文 (担当教員：佐藤、澤田、秋山)
天体観望 (担当教員：佐藤、澤田、秋山)
- 第2回 エンジニアリング天文学1 (担当教員：富田)
エンジニアリング天文学2 (担当教員：富田)
エンジニアリング天文学3 (担当教員：富田)

【到達目標】

この授業を通じて、宇宙的視点、総合的な物事の見方を身につける。

【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】

授業内容を踏まえた最終レポート100% 最終の授業時間後に、同じ会場で最終レポートを出題し、その場で提出する時間を設けます(最大90分程度)。

【教科書】

ありません。

【参考書・参考文献】

授業中に必要であれば紹介します。

【履修上の注意・メッセージ】

JR紀伊田辺駅近辺の会場(紀南文化会館 研修室 および 扇ヶ浜を予定)にて土日開講の集中授業です。
授業で天体観望を行います。防寒着を準備して、野外での観察に耐えられる服装を準備してください。

【履修する上で必要な事項】

とくにありません。

【授業時間外学修についての指示】

本授業の授業計画に沿って、準備学習と演習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、自主的学習を求めます。授業時間の約2倍の時間外学修が必要です。

【授業理解を深める方法】

各自、天文学や宇宙についてPCなどを用いて予習、復習など積極的に行ってください。
この授業では、実際の天体を観察することで理解を深める授業です。
アクティブラーニング実施要項3に該当します。

授業科目名 (英文表記)	SDGs・紀南 (SDGs・KINAN)		
単位数	1 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	岡崎 裕、此松 昌彦、本郷 宙軌 (非常勤講師)		
開 講	南紀熊野サテライト (田辺市他)	区 分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 11月2日(土) 13:00~17:00	第3回 12月14日(土) 12:20~16:20	
	第2回 11月30日(土) 13:00~17:00		

【授業の概要・ねらい】

SDGs(Sustainable development Goals)は、2015年の国連サミットで策定された世界で2030年までに達成すべき持続可能な開発目標である。近年、これについて産・官・学・民のそれぞれのセクターにおいて多くの取り組みが進められており、和歌山大学においてもサテライト科目として、これを包括的かつ実践的に学ぶべく新たに本科目を設定した。SDGsでは、「環境」「経済」「社会」等いくつかの 카테고リーに分類される17のゴールと、そうしたゴールをさらに細分化した169のターゲットが定められており、このうち本年度は、SDGsそのものに関する包括的議論について学ぶとともに、紀南地域の自然に基づく海洋環境、さらにそうした環境の保全に対して歴史的に貢献した「南方熊楠」に着目し講義を進める。

【授業計画】

- 第1回** オリエンテーション・SDGs総論、田辺市の取り組み 担当教員：岡崎 裕
ゲストスピーカー：田辺市長 真砂充敏氏
- 第2回** 南方熊楠の取り組み 担当教員：此松昌彦
南方熊楠の考えていた環境保全について考えます。
ゲストスピーカー：南方熊楠顕彰館学術研究員 土永知子氏 (会場：南方熊楠顕彰館)
- 第3回** 串本エリアの海洋環境 非常勤講師：本郷 宙軌 (南紀熊野ジオパークセンター主査研究員)
串本海中公園において、サンゴをテーマに保全や活用について学習します。また森美枝館長に串本海中公園を案内いただきます。船からのサンゴなど海の生物を観察してもらい、串本の海と生物について学びます。
(会場：串本海中公園)

【到達目標】

受講生が、SDGsの経緯並びにその趣旨について理解し、17の目標についてその本質を具体的に説明し実践できるようになる。さら本年においてはSDGsの大きな課題のひとつである「海洋環境」と、その保全に尽くした「南方熊楠」について理解し、これからの見方考え方に資するものとして活用できるようになる。

【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】

授業ごとの目標に対する達成度評価を基本とし、授業の関わり方・課題への取り組み方等を含めた総合評価を行う。

【教科書】

特に指定はしないが、授業の過程において適宜参考文献を示す。

【参考書・参考文献】

授業中に示す。

【履修上の注意・メッセージ】

授業テーマに関連する社会的な出来事に関心を持ち、可能であれば、自然現象の保全活動等に、積極的に参加・参画してください。南方熊楠顕彰館の入場料350円(団体割引の可能性有り)は受講生に払っていただきます。串本海中公園の入場料1,600円(団体割引の可能性有り)は受講生に払っていただきます。串本駅から海中公園までの送迎バスを調整中ですので、詳細は後日連絡します。

【履修する上で必要な事項】

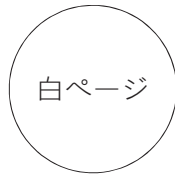
配当された授業を受講し、積極的に参加すること。

【授業時間外学修についての指示】

事前・事後学習については、その都度連絡します。

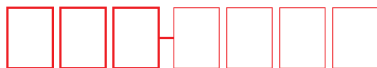
【授業理解を深める方法】

普段からSDGsに関心を持ってください。



郵便はがき

ここに
63円切手を貼付
してください。



住所	
氏名	様

⑤

※以下は大学側記載欄なので、記入しないで下さい。

令和6年学部開放授業申請書類《後期》受付通知

- 【科目名】 地域観光戦略論B
 南紀熊野の宇宙
 SDGs・紀南

あなたの令和6年度後期和歌山大学南紀熊野サテライト学部開放授業の申請書類を受付いたしましたのでお知らせいたします。

なお、授業開始案内(教室等お知らせ)は、授業開始日の10日前頃迄に郵送します。

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9-102

和歌山県立情報交流センターBig・u内

国立大学法人 和歌山大学南紀熊野サテライト

- 注) 1. 郵便番号、住所、氏名を記入し63円切手を貼り、申請書類を郵送時に同封してください。
2. 63円切手の貼付けの無いものは送付できません。
3. 申請用紙を窓口に持参する場合は、はがきの提出は不要です。

〈気象警報発令時の授業の取扱い〉

授業会場の所在市町村(田辺市)に「暴風警報」、「大雨警報」、「大雪警報」のいずれかが発令された場合は、発令期間中の授業は休止となります。

詳しくは、南紀熊野サテライトホームページを参照してください。

和歌山大学南紀熊野サテライトホームページ

<https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/nanki-kumano/>

〈個人情報の取り扱いについて〉

本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等に基づき、次の方針を定め、適正に取扱います。

「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する基本指針」
(和歌山大学HP)



※なんらかの支援または情報保障が必要な方は、8月2日(金)までに南紀熊野サテライトまでご連絡ください。